

食品廃棄物再生利用等実施率（平成26年度）※1

現在、東京都中央卸売市場各市場で行われている食品廃棄物の再生利用等実施率と再生利用の取組は、次のとおりです。

市場名		再生利用等実施率	市場名		再生利用等実施率
築地	水産	75.0%	足立	水産	94.3%
	青果	7.7%	板橋	青果	0.0%
大田	水産	82.7%	世田谷	青果	39.3%
	青果	6.3%	北足立	青果	0.0%
豊島	青果	33.6%	多摩 ニュータウン	青果	79.7%
淀橋	青果	93.9%	葛西	青果	13.4%

1 水産物部で発生する魚腸骨の再生利用

水産物部で発生するマグロの頭や骨などの魚腸骨は、専門業者によって回収され、飼料や肥料、魚油などへ再資源化されています。

2 青果物部で発生する野菜くずの再生利用

（1）バイオマス発電

野菜くずの一部はバイオマス発電事業者へ持ち込まれ、メタン発酵を通じて発生するバイオガスをバイオマス発電に利用しています。

（2）飼料化、堆肥化

野菜くずの一部はリサイクル事業者へ持ち込まれ、乾燥処理したうえ飼料化したり、堆肥化させ軽量土壌として再生利用したりしています。

※1 $\frac{\text{平成26年度発生抑制量} + \text{平成26年度再生利用量} + \text{平成26年度減量量}}{\text{平成26年度発生抑制量} + \text{平成26年度発生量}}$

なお、再生利用等実施率を求めるための発生抑制量の算出には、食品リサイクル法の基準年度である平成19年度データを使用している。